

科目名	柔整総合Ⅰ						
分野	その他の分野	担当教員	平林 弘道				
開講時期	1学年 1学期	単位数	講義	実技	演習	実習	
時間数	30		2				
科目の概要	骨の基本的構造、骨の名称、骨の各部の名称、働きを学ぶ。						
学習の到達目標	骨の名称、各部の名称、働きを覚え、体表からその位置を理解し触知することができるレベルに到達し、今後の関節、筋の学習に役立てる。						
成績評価の方法と基準	定期試験 小テスト(確認テスト)によって評価						
使用テキスト	解剖学第2版(医歯薬出版)、柔道整復学理論編改訂第7版(南江堂)						
参考文献	分冊解剖アトラス第5版運動器(文光堂)、機能解剖学的触診技術(メディカルビュー)						
実務経験を有する者	○						
講義計画	講義内容						
1	総論Ⅰ 人体のマクロ区分:領域の定義、解剖学的正位、方向と位置の表現						
2	総論Ⅱ 骨格系のアーキテクチャ(骨の役割・形状・表面に関する用語) 人体の主要骨格						
3	上肢帯						
4	自由上肢(上腕骨)						
5	自由上肢(前腕骨)						
6	自由上肢(手指骨)						
7	下肢帯						
8	自由下肢(大腿骨、膝蓋骨)						
9	自由下肢(脛骨、腓骨)						
10	自由下肢(足趾骨)						
11	脊柱(頸椎)						
12	脊柱(胸椎、肋骨、胸骨)						
13	脊柱(腰椎、仙、尾骨)						
14	頭蓋						
15	総合評価(まとめ)						

(2026年度)